

親近感があれば、メッセージも伝えやすい

着ぐるみ・顔出しパネル

ご希望を
カタチに

キャラクターは、一人歩きしてくれます。1体の愛されるキャラクターを創作すると、さまざまな相乗効果生まれ、メッセージをわかりやすく伝えることができます。

ふれあえるマスコットキャラクターをつくりたい

交通安全キャンペーンのときに、親しめるマスコットがほしい。それもチームの象徴となっているホーク(鷹)がイメージできるキリッとしたキャラクターがいい。そこから、キャラクターをつくり、着ぐるみを制作しました。四季のキャンペーンをはじめ、随時、ふれあい事業に出動しています。



平面キャラクター



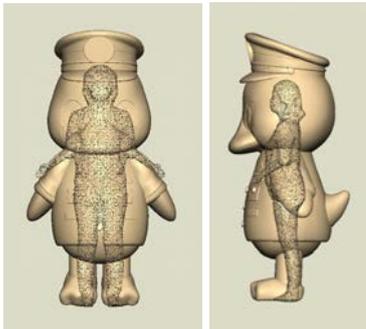
立体イメージ



着ぐるみ

地元警察の着ぐるみづくり

すでにあるマスコットを、動ける着ぐるみにしてほしい。そんなミッションに動きやすく、快適な着ぐるみの制作をしました。



立体イメージ



着ぐるみ

活動に相乗効果!

「あおり運転は、ダメ」キャンペーン
キャラクター活用例



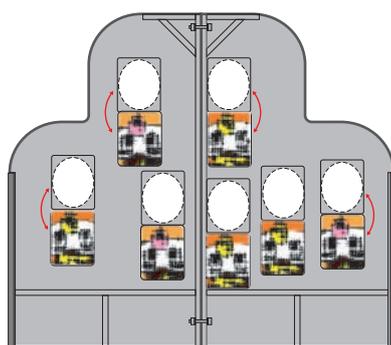
* 商標登録について
創作するキャラクターやマスコット、
名称をきちんと守りたい(保護したい)
場合は、特許庁に商標登録されることを
おすすめします。

小学校などの交通安全教室で活用!

子どもたちとふれあう機会が多いので、たくさん子どもたちが同時に顔出しできるパネルがほしい。おりしも7人家族のキャラクターがいるので、7人が顔出しできるパネルをつくらう。また、全員が顔出ししなくても見栄えのする展示品にしましょう、ということで、顔の部分が開閉できるパネルを制作しました。



* 7人同時に顔が出せます。



* 顔出し部分は開閉可能。

顔出しパネル



* 背景パネルとしての使用イメージです。